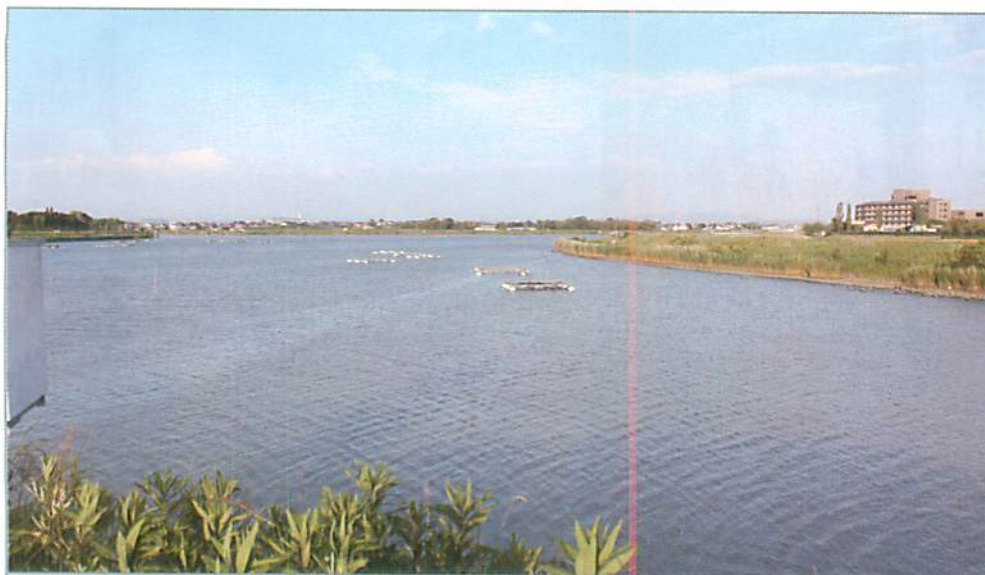


## 地域の協力により、水質改善がますます進み 鮎が遡上し、水鳥が群れる油ヶ淵へとEM活動がサポート



環境浄化



三河安城ロータリークラブの2004年から始まったEM放流事業により、水質指標のCODが改善、魚が湖面を飛び跳ね、水鳥が集う油ヶ淵へ再生。さらなる浄化を目指して、市民によるボランティアの活動が始まっています。



① Café house MILKの皆さんと三浦さん

② 平岩克代さんご自宅のタンク

③ 荻野留美子さんご自宅のタンク



2008年～2010年は三河安城ロータリークラブのメンバーにより半場川へのEM投入を実施。



油ヶ淵への流入河川は長田川と半場川が合流する朝鮮川などがあります。長田川、半場川は安城市より端を発しており、油ヶ淵の浄化には流域の市民の協力は欠かせません。

### 活動団体&個人

三河安城ロータリークラブ (2004~2007年)  
三河安城ロータリークラブメンバー (2008年~2010年)  
三河湾浄化市民塾 代表 三浦進 (2011年~)

### 【油ヶ淵について】

愛知県碧南市と安城市の境、高浜川河口から2km上流の低平地にあり、面積0.64k平方メートル、平均水深3mと浅く、海水と淡水が混じり合った比較的小さな汽水湖で、愛知県唯一の天然湖沼です。

近年、湖の北部は都市化が進み、南部は農地の利用度が高くなったことから、流入する生活排水と農業排水で水質が悪化。長年全国湖沼水質ワースト3にランクインするという不名誉な結果となっていました。

### 【三河安城ロータリークラブの取り組み】

2004年から、EM(有用微生物群)による油ヶ淵水質浄化活動を開始。2008年には全国湖沼水質ワースト16位までに、大幅に水質が改善。

EMの投入実績は2004~2007年の間は三河安城ロータリークラブが中心となり、毎月15トンを15ヶ所から投入し3年間で540トンを投入。

2008年~2010年は会のメンバーが個人で活動を継続。毎月12トンを3ヶ所から投入し、年間144トンを投入しました。

### 【三河湾浄化市民塾の代表 三浦進さんが浄化活動を開始】

2011年より、三浦さんの呼びかけに、油ヶ淵に流入する河川である半場川と長田川の沿線にある喫茶店や個人宅が協力。1トntonクを設置し、現場で培養。雨水枡などを経由して投入し、無理なく自己責任で継続できる方法で油ヶ淵の浄化活動に取り組み、更なる湖水の水質改善を目指します。

### 協力している方々の紹介

- ① Café house MILK：駐車場にタンクを設置、EM活性液を培養。雨水枡を通じて、半場川へ投入。場所：安城市碧海古井  
投入量：1トntonクからEM活性液を直接、冬は月1トン、夏は月2トン投入。浄化槽に100~200リットル/月投入。  
浄化槽にもEM活性液を投入してからドブ臭さがなくなりました。  
お店ではEM・X GOLDなどのEM商品も販売しています。
- ② 平岩克代さんご自宅の庭先に1トntonクを設置。EM活性液を培養して、道を隔てて流れる長田川へ毎月1.5トン投入。平岩さんはボランティア活動や福祉のお手伝いをしています
- ③ 荻野留美子さんご自宅の駐車場に1トntonク設置。EM活性液を培養して、脇の雨水排水路から毎月2トン(月2回)のEM活性液を長田川へ投入。荻野さんは元教員で、現在は主にボランティア活動に取り組んでいます。
- ④ 杉浦彦展さんご自宅から、毎月500リットルのEM活性液を長田川へ投入。杉浦さんは、ボランティア活動に取り組んでいて、農業でもEMを活用しています。